

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

活気と賑わいを取り戻すために

昭和30年2月11日に1町3村（庁南町、豊栄村、東村、西村）が合併し、人口1万5千人余の長南町が誕生しました。30年、40年頃は、子ども達も多く、町全体に活気と賑わいがあったように記憶しています。

近年は、急激な人口減少と少子高齢化に見舞われ、現在は過疎地域となっています。過疎がゆえの課題も多く、4ヶ所の小学校を統合しなければならぬという喫緊の課題や若者の定住を促進し、人口減少に歯止めをかけなければならぬという課題もあります。また、生産年齢人口の減少で産業分野での後継者や担い手不足の深刻化など、生産機能の低下も心配されると

ころです。

その一方で、本町は自然に恵まれた風光明媚な町であり、歴史的にも古代から栄えた土地柄をしのばす史跡や文化財が多く残っています。先人が残してくれた「豊かな緑」、きれいな「水」、恵まれた「大地」を大切に守ることで自然と共生できる町です。また、圏央道という社会資本を最大限に活かすこともできます。

私は、先輩諸氏から受け継いだ「伝統ある長南町行政の継続性」というものを強く意識しながら、また、新たな視点に立って、かつての活気と賑わいを取り戻すため、町政のかじ取りをしっかりと行ってまいりたいと考えています。

来年の2月11日には、合併60周年を迎えます。記念事業も考えておりますので、町民の皆様とともにこの記念日を盛大にお祝いしたいと思っております。

